

活動報告書

2008年1月～12月

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本



1999年
ノーベル平和賞受賞



MEDECINS SANS FRONTIERES

国境なき医師団



コンゴ民主共和国、北キブ州

避難民キャンプのそばで交通事故にあい、MSFの診療所で治療を受けている8歳の少年、シユクル。

©Sven Torfinn



目次

P3 国境なき医師団憲章、10の原則	The Charter of MSF / 10 Principles of MSF
P4 国境なき医師団とは	About MSF
P5 会長・事務局長からの挨拶	Message from President & General Director
P7 国境なき医師団の活動地	MSF Activity Map
P9 数字でみる国境なき医師団	MSF Facts & Figures

コンゴ民主共和国 カタンガ州

2008年5月、カタンガ州ではしか流行の兆しを受けて、MSFは緊急に80万人の子どもを対象とする予防接種を実施した。対象地域は広大で、車両では行けない場所に村々が点在する。チームはバイクや徒歩で移動して、遠く離れた村まで予防接種を行き渡らせた。



Contents

P13	2008年 日本からの海外派遣実績	Field Staff Sent by MSF Japan in 2008
P15	2008年 国境なき医師団日本の資金援助対象国	Countries & Regions Funded by MSF Japan in 2008
P17	財務報告	Financial Report
P33	謝辞	Acknowledgement

国境なき医師団憲章

The Charter of MSF

Médecins Sans Frontières provides assistance to populations in distress, to victims of natural or man-made disasters and to victims of armed conflict. They do so irrespective of race, religion, creed or political convictions.

国境なき医師団は苦境にある人々、天災、人災、武力紛争の被災者に対し人種、宗教、信条、政治的な関わりを超えて差別することなく援助を提供する。

Médecins Sans Frontières observes neutrality and impartiality in the name of universal medical ethics and the right to humanitarian assistance and claims full and unhindered freedom in the exercise of its functions.

国境なき医師団は普遍的な「医の倫理」と人道援助の名のもとに、中立性と不偏性を遵守し完全かつ妨げられることのない自由をもって任務を遂行する。

Members undertake to respect their professional code of ethics and to maintain complete independence from all political, economic, or religious powers.

国境なき医師団のボランティアはその職業倫理を尊び、すべての政治的、経済的、宗教的権力から完全な独立性を保つ。

As volunteers, members understand the risks and dangers of the missions they carry out and make no claim for themselves or their assigns for any form of compensation other than that which the association might be able to afford them.

国境なき医師団のボランティアはその任務の危険を認識し国境なき医師団が提供できる以外には自らに対していかなる補償も求めない。

10の原則

10 Principles of MSF

1. 第一に医療援助活動

Medical Action First

6. 公平性

A Founding Principle: Impartiality

2. 証言活動

Temoignage(Witnessing):An Integral Complement

7. 中立性の精神

A Spirit of Neutrality

3. 医療倫理の遵守

Respect for Medical Ethics

8. 義務と透明性

Accountability and Transparency

4. 人権の擁護

Defense of Human Rights

9. 自発的に参加する現地活動スタッフからなる組織

An Organization of Volunteers

5. 独立性への配慮

Concern for Independence

10. 同じ目的の下に集ったメンバーが運営する非営利の組織

Operating as an Association



コレラによる脱水を防ぐため、点滴を受ける少女。
© Joanna Stavropoulou / MSF

ジンバブエ ペイトブリッジ

ジンバブエでは2008年8月からコレラの流行が猛威をふるい、かつてなく甚大な被害をもたらしている。コレラは脱水症状を引き起こし、数時間のうちに患者の命を奪うこともあるため、迅速な治療が必要とされる。MSFは各地で治療プログラムを立ち上げ、2009年2月までに4万5千人以上の患者を治療した。

国境なき医師団とは

About MSF

医療援助を第一に

国境なき医師団 (MSF) は、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。危機に瀕した人びとへの緊急医療援助を主な目的とし、医師、看護師をはじめとするスタッフが、世界約60カ国で援助活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

独立・中立・公平

MSFは誰からも干渉や制限を受けることなく、助けを必要としている人びとのもとへ向かい、人種や政治、宗教に関わらず分けへだてなく援助を届けます。

世論に訴える

援助活動の現場では、虐殺や強制移住など激しい人権侵害を目の当たりにすることもあります。MSFはそのようなとき、医療だけでは人びとの命を救うことが出来ない現状を国際社会に証言します。

会長・事務局長からの挨拶

Message from President & General Director

災害のない年はないと言っていいほど、この数年、世界各地で大規模な自然災害が起きていますが、2008年5月に起きたミャンマーのサイクロン「ナルギス」による被害、そしてその直後に起きた中国・四川の大地震はまだ皆様のご記憶にも新しいと思います。国境なき医師団(MSF)は被災直後の援助介入、および被災援助が収束した後の継続した援助活動に従事しました。国外からの援助団体に比較的多くの制約を課す両国での活動はMSFに新たな挑戦を示す象徴的な出来事でした。いかにして援助が必要な人びとの所まで迅速にたどりつき緊急援助にこぎつけるか、人道援助従事者・団体に開かれた機会の扉は狭く、また独立した自由な援助活動に同意・許可を取り付けることは、決して容易ではない挑戦でした。その中でも、日本から先遣の一隊がサイクロン被災直後にミャンマーに入国したことは、非常に大きな評価に値することでした。

一方でまた急速に、MSFのみならず他の援助団体のスタッフが活動現地において、武装組織による攻撃の標的となる、あるいは活動従事者が誘拐されるといった事件が増加し、今後の援助活動に暗い影を落とす現実があります。MSFが世界中で展開している活動現場でも時として、私たちの援助を待つ被災者・患者の人びとへのアクセスが厳しく妨げられることに直面することが数多くあった1年だったといえます。

こうした厳しい状況に置かれるなか、MSFでは毎年公開している、メディアで伝えられることのない「10の最も深刻な人道的危機」と銘打った報告、および紛争に巻き込まれた人びとの窮状を伝える「危機に陥ったコンゴ民主共和国」を取り上げたマルチメディアプロジェクトなどのキャンペーンを通じて、いまだ国際社会の関心を集めることのない国や地域、それらの抱える窮状を積極的に広報することも継続的に試みてきました。

また、イエメンにボートで流出するソマリア・エチオピア難民の問題、タイのモン族難民の強制帰還問題に関しては、国際社会の注視を促し問題の早期解決を強く訴える働きかけを行いました。

7月からは公共広告機構(AC)による広告支援キャンペーンが開始され、日本でより広く多くの人びとにMSFを知っていただく機会を得ました。私たちはこのキャンペーンが日本の市民社会による人道援助への積極的参加の一助となることを大きく期待しています。

MSF日本は、2008年には計52人を延べ65回、海外派遣スタッフとして現地活動に送り出しました。参加者や登録者の増加には勇気付けられる思いがします。

今なお、光の当たらない国や地域で、紛争、貧困、あるいは災害によって困難な状況下にある人びとを救うための、私たちの活動を可能にしてくださっている、数多くの支援者の皆様に、この場を借りて深く感謝の意を表したいと思います。

年末に事務局が移転し、スタッフ一同心機一転、新たな1年にさらなる飛躍を目指し努めてまいります。

During the past several years, massive natural disasters have struck throughout the world with such frequency that it looks as if a disaster-free year will never come. But we are sure that the devastation wrought by Cyclone Nargis which struck throughout Myanmar in May 2008 and the giant earthquake in Sichuan Province in China which immediately followed the cyclone are both fresh in the memories of all of you. Médecins Sans Frontières (MSF) brought aid in immediate response to both disasters and has taken part in aid activities which continued after emergency activities had come to an end. Action in these two countries, which impose relatively important restrictions on aid organizations from overseas, were symbolic events, confronting MSF with new challenges. It was definitely not easy to find ways to quickly reach places where people needed assistance, and, once there, provide them with emergency aid, to overcome the obstacles blocking the arrival of humanitarian aid workers and organizations, and to gain agreement and approval of national or local authorities for independent unrestricted aid activities. Under these circumstances, the way that an advance team from Japan obtained permission to enter Myanmar immediately after the cyclone was a feat worthy of great praise.

At the same time, the past year has seen a rapid increase in the frequency of incidents in which the staff of not only MSF, but of other aid organizations, have become the targets of attacks by armed groups in the areas they are acting, or have been kidnapped while participating in their teams' activities, casting a dark shadow over future aid activities. In addition, in regions around the world where MSF is active, our members have often faced obstacles cruelly preventing access to the victims of disasters and disease who are waiting eagerly for their help.

In the face of such harsh conditions, MSF has striven continuously to actively report on countries and regions and the misery of their inhabitants which have not yet succeeded in attracting the concern of the international community. It has done so through a campaign including the release of the report titled, "Top Ten Humanitarian Crises of 2008", which, year after year, have not been communicated through media available to the public, and by undertaking a multi-media project called "Condition: Critical - Voices from the War in Eastern Congo", which is intended to publicize the suffering of people caught up in warfare.

MSF has also begun to draw the attention of the international community to the plight of the Somali and Ethiopian refugees who have fled by boat to Yemen and to the compulsory repatriation of the Hmong people in Thailand, and has issued emphatic demands for quick resolutions to these problems.

Beginning in July, we gained an opportunity to spread awareness of MSF among the people of Japan with the start of an advertising campaign on its behalf by the Japan Advertising Council (AC). We are counting heavily on this campaign helping us expand active participation in humanitarian aid among the people of Japan.

In 2008, MSF Japan sent 52 people (65 departures in total) to take part in activities in the field as expatriate staff. We were encouraged by the increase in participants and registered volunteers.

MSF wishes to take this opportunity to express our deep gratitude to every one of our many supporters whose efforts have ensured that we can take action to save people suffering under horrible circumstances as a result of conflict, poverty or disasters in countries and regions which go largely unreported.

At the end of 2008, our Tokyo office was relocated and our entire staff will turn over a new leaf and strive to achieve even greater progress in the new year.



国境なき医師団日本
会長 井田 覚
Satoru Ida
President
Médecins Sans Frontières Japan



国境なき医師団日本
事務局長 エリック・ウアネス
Eric Ouannes
General Director
Médecins Sans Frontières Japan



エチオピア オロミア州

エチオピアは2008年、干ばつや食糧価格の高騰などにより栄養状態の悪化に見舞われた。MSFは2008年5月、同国南部で緊急栄養治療プログラムを開始し、10月までに約8万人の栄養失調患者を治療した。

栄養失調と結核を患っている4歳の少女、アヤンツ。

©Fastxmsf

国境なき医師団の活動地

MSF Activity Map

国境なき医師団 (MSF) は、約60の国と地域で医療・人道援助プログラムを実施しています。緊急の事態に柔軟に対応するため、MSFは毎年数多くの個別プログラムを開始あるいは終了させています。多様なニーズに対応すべく、ひとつの国の中で複数のプログラムを実施することもあります。活動地では常にニーズの変化を観察し、可能な場合には現地保健当局や他のNGOなどにプログラムの引継ぎを行っています。

※地図中の国・地域は2007年実績。2008年実績は2009年7月に発表予定。

- ・・・活動規模が大きい10の国・地域
- ・・・その他のMSFの活動国・地域



© Cristina De Middel

ハイチ：暴力の頻発するスラム地区で緊急医療を提供



© Laurent Chamussy / Sipa Press

ニジェール：重度の栄養失調で治療を受ける子どもと母親

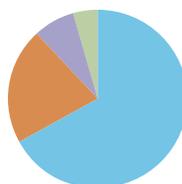
▶▶ 国境なき医師団の活動概況 (2007年実績)

▶ 活動規模が大きい国・地域 (プログラム支出額順)

- | | |
|------------|----------|
| 1 コンゴ民主共和国 | 6 スーダン北部 |
| 2 チャド | 7 ハイチ |
| 3 ソマリア | 8 ケニア |
| 4 スーダン南部 | 9 リベリア |
| 5 ニジェール | 10 ミャンマー |

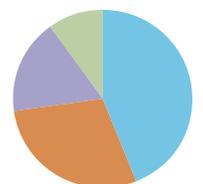
▶ 大陸別プログラム数

■ アフリカ	67.2%
■ アジア	21.0%
■ 中南米	7.5%
■ ヨーロッパ	4.3%



▶ 活動地の情勢

■ 安定した状況	44%
■ 武力紛争	29%
■ 内政不安	17%
■ 紛争後	10%





©Pim Ras

コンゴ民主共和国：カタンガ州の病院で子どもを診療する医師



©MSF

ミャンマー：診療を受けるHIV/エイズ患者の女性



© Guillaume Le Duc / MSF

ソマリア：ジャマメでの移動診療

▶▶ 国境なき医師団のネットワーク

国境なき医師団 (MSF) は世界19か国に支部を持つ国際的な組織です。本部は存在せず、それぞれの支部が国際憲章に基づき独立して活動を行いながら、緩やかなネットワークで結ばれています。

■ オペレーション支部

プログラムの運営を担当し、医療チームを編成・派遣する。

オランダ	スイス	スペイン	フランス	ベルギー
------	-----	------	------	------

■ パートナー支部

活動に参加するスタッフを募集・派遣するほか、広報活動、募金活動を行う。

アメリカ合衆国	イギリス	イタリア	オーストラリア	オーストリア
カナダ	ギリシャ	スウェーデン	デンマーク	ドイツ
日本	ノルウェー	香港	ルクセンブルク	

■ MSFインターナショナル

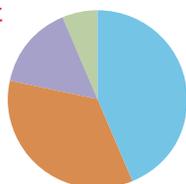
支部間の調整を行う機関。(スイス)

■ 付属組織

ロジスティックセンター(フランス・ベルギーほか)	エビセンター(フランス)
物資の購入、管理、輸送を担当し、効率的な援助活動のための物資調達を支える。	疫学研究組織。MSFの活動地で得られた医学的情報の分析などを行う。

▶ 援助開始のきっかけとなった出来事

武力紛争	43%
感染症・疫病の流行	34%
社会的暴力、医療からの疎外	15%
自然災害	6%



数字で見る国境なき医師団

ここに示す数値は、国境なき医師団 (MSF) 全支部の財務状況を連結ベースで表したものです。2007年度の連結ベースの国際財務諸表は、国際財務報告基準のほとんどに適合するMSF国際会計基準に従って作成され、監査法人であるKPMGおよびErnst & Youngにより国際監査基準に基づく共同監査を受けました。2007年度版財務報告の全文は、MSFインターナショナルより入手可能です。またMSFの各支部は、自国内の会計基準・原則等に従って作成され、かつ監査を受けた年次財務諸表を公表しています。これらの報告書の写しは各支部の事務局において入手可能です。

ここに掲載されている数値は、2007年1月から12月の期間についてのものです。単位はすべて100万ユーロ(括弧内は百万円)です。

(1ユーロ=162円)

注: 表内の数値は端数切り捨て表示のため、個々の数値の計と合計値が一致しない場合があります。

MSFは効率的に活動を行う方法を模索した結果、「サテライト」と呼ばれる、人道援助物資の調達管理や、疫学・医学調査研究、人道援助・社会貢献活動の研究などの専門的活動を担う専門機関を設立してきました。現在、該当する機関として、エピセンター(Epicentre)、EUP(Etat d'Urgence Production)、MSF財団(Fondation MSF)、MSFアシスタンス(MSF Assistance)、MSFエンタープライズ(MSF Enterprises Limited)、公施設法人国境なき医師団(Médecins Sans Frontières - Etablissement d'Utilité Publique)、MSFロジスティック(MSF-Logistique)、MSFサプライ(MSF-Supply)、MSF不動産民事会社(SCI MSF)、サバン不動産民事会社(SCI Sabin)、ワリ・ナワズ(Wali-Nawaz)があります。これらの機関はMSFの管理下にあるため、ここに示す財務報告の範囲に含まれています。

活動地域

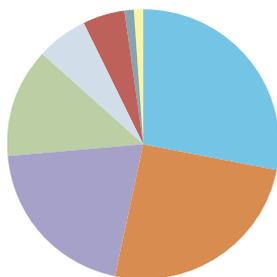
国/地域	百万ユーロ	(百万円)	国/地域	百万ユーロ	(百万円)
アフリカ			アジア/中近東		
スーダン	40.9	(6,626)	イラク	10.0	(1,620)
コンゴ民主共和国	39.9	(6,464)	ミャンマー	8.9	(1,442)
チャド	25.3	(4,099)	インド	5.9	(956)
ソマリア	21.9	(3,548)	カンボジア	4.9	(794)
ニジェール	15.8	(2,560)	タイ	4.2	(680)
ケニア	13.1	(2,122)	パキスタン	3.9	(632)
リベリア	10.1	(1,636)	スリランカ	2.9	(470)
ウガンダ	9.8	(1,588)	インドネシア	2.8	(454)
コートジボワール	9.0	(1,458)	パレスチナ	2.4	(389)
ジンバブエ	9.0	(1,458)	グルジア	2.3	(373)
マラウイ	8.6	(1,393)	バングラデシュ	2.1	(340)
モザンビーク	8.3	(1,345)	ウズベキスタン	2.1	(340)
中央アフリカ共和国	8.1	(1,312)	イエメン	1.7	(275)
エチオピア	7.3	(1,183)	アルメニア	1.6	(259)
シエラレオネ	5.3	(859)	ネパール	1.5	(243)
ブルンジ	5.3	(859)	中国	1.5	(243)
ナイジェリア	4.9	(794)	イラン	1.3	(211)
ブルキナファソ	4.7	(761)	その他※	3.0	(486)
ギニア	3.5	(567)	合計	62.9	(10,190)
コンゴ共和国	3.0	(486)	中南米		
南アフリカ共和国	3.0	(486)	ハイチ	12.6	(2,041)
ザンビア	2.9	(470)	コロンビア	7.5	(1,215)
アンゴラ	2.4	(389)	ペルー	1.7	(275)
カメルーン	2.4	(389)	グアテマラ	1.5	(243)
ルワンダ	1.2	(194)	その他※	2.4	(389)
マリ	1.2	(194)	合計	25.8	(4,180)
その他※	1.7	(275)	ヨーロッパ		
合計	268.7	(43,529)	チェチェン/イングーシ	6.3	(1,021)
			ロシア	2.0	(324)
			イタリア	1.1	(178)
			キルギス	1.1	(178)
			ベルギー	1.0	(162)
			その他※	1.1	(178)
			合計	12.7	(2,057)

※「その他」は、プログラム支出が100万ユーロ(約1億6200万円)以下の国をまとめている。

支出内訳 (活動地におけるプログラムおよび調整チームの支出)

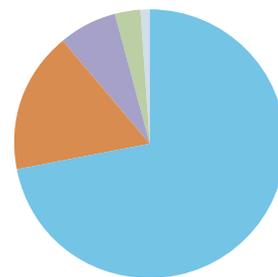
種類別の支出割合

現地スタッフ人件費	28%
外国人派遣スタッフ人件費	25%
医療・栄養治療用品費用	20%
交通・貨物輸送・備蓄費	13%
救援物資・衛生用品費用	6%
活動運営費	5%
トレーニング・現地サポート	1%
その他	1%



大陸別の支出割合

アフリカ	72%
アジア	17%
中南米	7%
ヨーロッパ	3%
未配分	1%



2007

2006

収入	百万ユーロ	(百万円)	%	百万ユーロ	(百万円)	%
民間からの寄付金	518.7	(84,029)	87.6	488.4	(79,121)	85.9
公的機関	54.2	(8,780)	9.1	61.8	(10,012)	10.8
その他	19.8	(3,208)	3.3	18.5	(2,997)	3.2
収入合計	592.7	(96,017)	100.0	568.7	(92,129)	100.0

支出	百万ユーロ	(百万円)	%	百万ユーロ	(百万円)	%
救援活動費	439.1	(71,134)	76.1	431.2	(69,854)	77.0
証言活動費	19.4	(3,143)	3.4	18.0	(2,916)	3.2
その他の人道援助活動費	9.1	(1,474)	1.6	7.9	(1,280)	1.4
ソーシャル・ミッション(※)合計	467.6	(75,751)	81.0	457.1	(74,050)	81.6
募金活動費	76.9	(12,458)	13.3	71.8	(11,632)	12.8
一般管理費	32.9	(5,330)	5.7	30.9	(5,006)	5.5
支出合計	577.4	(93,539)	100.0	559.9	(90,704)	100.0

為替差損益(未実現のものを含む)	-3.2	(-518)		-4.5	(-729)	
当期正味財産増減額	12.1	(1,960)		4.3	(697)	

※海外での救援活動と国内・外での広報・証言活動をあわせて「ソーシャル・ミッション」と呼ぶ。

貸借対照表(期末財政状況)	百万ユーロ	(百万円)	百万ユーロ	(百万円)
固定資産	37.1	(6,010)	35.8	(5,800)
流動資産	61.0	(9,882)	66.2	(10,724)
現金及び現金等価物	350.2	(56,732)	347.5	(56,295)
資産合計	448.4	(72,641)	449.5	(72,819)
永久制限資金※1	2.5	(405)	2.5	(405)
非制限資金※2	402.2	(65,156)	389.4	(63,083)
その他剰余金※3	-14.6	(-2,365)	-7.1	(-1,150)
剰余金・正味財産合計	390.1	(63,196)	384.7	(62,321)
固定負債	3.4	(551)	3.7	(599)
流動負債	52.5	(8,505)	55.5	(8,991)
未使用用途指定寄付金※4	2.3	(373)	5.6	(907)
負債・正味財産合計	448.4	(72,641)	449.5	(72,819)

スタッフ派遣実績

スタッフ派遣回数(年間):	4,134	100%	4,623	100%
医師	1,117	27%	1,292	28%
看護師・その他医療従事者	1,303	32%	1,500	32%
非医療従事者	1,714	41%	1,831	40%
初回派遣者数:	1,152	28%*	1,332	29%*
※全派遣数に対する比率				
現地ポスト数:	24,348	100%	26,981	100%
外国人派遣スタッフ	1,994	8%	2,022	7%
現地スタッフ	22,354	92%	24,959	93%

2008年の実績は、2009年7月に発表の予定です。

▶ 収入について

独立性を維持し社会との連帯を強化するための努力の一環として、MSFは民間からの寄付金収入の割合を高く保つよう努めてきた。2007年度は収入の90.9%を民間からの寄付金が占めている。これは世界380万人以上の寄付者および民間企業・団体の協力のたまものである。公的機関には、欧州委員会人道支援事務局(ECHO)、ベルギー、カナダ、デンマーク、アイルランド、ルクセンブルク、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス政府などが含まれる。

▶ 支出について

支出はMSFが行う主な活動内容に従って分類されている。救援活動費にはプログラム関連の支出やMSF各支部による活動支援費が含まれる。すべての支出項目には人件費、直接費用および間接費用の負担分が含まれる。

※1 永久制限資金とは、寄付者によって投資の対象が限定されていたり、実際の使用までに長期間留保されたりするものであり、支部によっては、最低限の剰余金として留保されているものである。

※2 非制限資金とは、寄付者により用途が指定されていない資金のうち未使用分である。MSF理事の裁量によりソーシャル・ミッションを促進するために使われる。

※3 その他剰余金とは、資本金的な資金に、決算書を連結する際に発生する諸調整勘定を加えたものである。

MSFの剰余金は過年度における支出と収入の差額が累積したものである。2007年度末時点での処分可能な剰余金(為替差による減少分を反映した使途非制限資金)は、2007年度の活動費の8ヵ月分に相当する。これらの剰余金は、将来大規模な人道的危機が発生した際に十分な資金が確保できない場合、民間または公的資金が突発的に減少した場合、長期プログラム(ARV治療プログラムなど)の維持のため、あるいは公的機関や一般募金活動による資金調達に伴う「つなぎ資金」としてのみ使用される。

※4 未使用用途指定寄付金とは、寄付者により用途が指定された寄付金のうち、2007年度には使用されなかった残高である。これらはあくまで、寄付者の意志(特定の援助国、援助プログラムなど)に沿って使用される。

スーダン ダルフール地方

ダルフール地方では2003年から激しい紛争が続いている。MSFは2008年も、避難生活を余儀なくされている数十万の人びとに医療援助をたゆみなく届け続けた。





MEDECINS
SANS FRONTIERES

2008年 日本からの海外派遣実績

Field Staff Sent by MSF Japan in 2008

2008年、国境なき医師団日本からは計52人のスタッフが延べ65回、23か国に派遣され、援助活動を行いました。

- ・・・日本からスタッフが派遣された国
- ・・・その他のMSFの活動国・地域



© MSF
難民キャンプでの活動(ウガンダ/ロジスティシャン)



© MSF
回診中、患者とともに(スーダン/外科医)

スーダン

- 江藤 俊浩(ロジスティシャン)
- 太田 晶子(助産師)
- 太田 靖子(看護師)
- 小口 隼人(ロジスティシャン) ※2回派遣
- 品田 裕子(看護師)
- 菅原 由佳(アドミニストレーター)
- 宋 正実(ロジスティシャン)
- 田岡 知明(看護師) ※2回派遣
- 田村 美里(助産師)
- 村上 大樹(外科医)
- 村田 慎二郎(プログラム責任者)
- 八木橋 伸(薬剤師)
- 山本 嘉昭(産婦人科医)
- 吉岡 弘隆(ロジスティシャン)

レバノン

- 木村 陽子(財務コーディネーター)

ハイチ

- ウニョン コー(小児科医)

マリ

- クオン ジェオン(麻酔科医)

シエラレオネ

- ウニョン コー(小児科医)
- 徳間 美紀(助産師)



© MSF
子どもの診療(ナイジェリア/小児科医)

ナイジェリア

- 朝倉 恵里子(ロジスティシャン)
- 岩崎 直哉(小児科医)
- 小杉 郁子(外科医)
- 田中 躍(産婦人科医)
- 南 希成(医師)

カメルーン

- 井田 覚(ロジスティック・コーディネーター)

ウガンダ

- 朝倉 恵里子(ロジスティシャン)
- 川邊 洋三(ロジスティシャン)
- ユン スンヒ(看護師)



© MSF
栄養失調児の診療(ナイジェリア/医師)



© MSF
腹部銃創を負った少年の手術(ソマリア/外科医)

コンゴ民主共和国

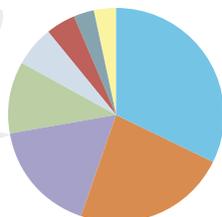
- 菅村 洋治(外科医)

ジンバブエ

- 大谷 敬子(看護師)
- 村田 慎二郎(ロジスティシャン)

▶ MSF日本 海外派遣数 職種別割合

医師	21 (32%)
ロジスティシャン	15 (23%)
看護師	11 (17%)
コーディネーター	7 (11%)
助産師	4 (6%)
薬剤師	3 (5%)
アドミニストレーター	2 (3%)
臨床検査技師	2 (3%)



▶ MSF日本 海外派遣スタッフ出身地(都道府県)

東京	7	愛知	2	長野	1
神奈川	4	宮崎	2	岐阜	1
埼玉	3	岩手	1	三重	1
京都	3	秋田	1	兵庫	1
大阪	3	山形	1	山口	1
長崎	3	栃木	1	福岡	1
北海道	2	群馬	1	海外/その他	9
石川	2	千葉	1	計	52人



© MSF
出産後の母親と新生児とともに(スーダン/助産師)



© MSF
移動診療に向かうボートの中で(ミャンマー/看護師)



© MSF
サイクロン・ナルギスの被災地での活動(ミャンマー/ロジスティシャン)

グルジア

山田 浩隆(医師)
リー ソヤン(医師)

イラン

名和 正行(麻酔科医)

中国

菅原 美紗(医師/プログラム責任者)

パキスタン

太田 晶子(助産師)

インド

松山 雅(精神科医)

ミャンマー

井田 覚(プログラム責任者)
上平 明美(看護師)
ジャン=リュック・アングラード(その他)
田村 岳男(ロジスティシャン)
道津 美岐子(看護師)
名知 仁子(医師)
船越 久(ロジスティシャン)
吉田 ゆかり(看護師)

イエメン

江藤 俊浩(ロジスティシャン)
キム ナヨン(医師)
佐々木 静恵(アドミニストレーター)
中塚 順子(臨床検査技師)
三浦 由紀子(麻酔科医)

カンボジア

山住 邦夫(ロジスティシャン)

ソマリア

神田 紀子(薬剤師)
黒崎 伸子(外科医)

スリランカ

岩崎 直哉(小児科医)
菅村 洋治(外科医)
中塚 順子(臨床検査技師)

エチオピア

神田 紀子(薬剤師)
キム ナヨン(医師)
リチャード・スィーベル(アドミニストレーター)

ケニア

狩森 由美子(看護師)
萩原 健(ロジスティシャン)

マラウイ

落合 厚彦(ロジスティシャン)
田岡 佳子(看護師)



© MSF
現地の看護スタッフとともに(パキスタン/助産師)



© MSF
現地のスタッフとともに(イエメン/麻酔科医)

海外派遣スタッフを募集しています

国境なき医師団日本では、世界各地で活動を行う医療従事者(医師、看護師、助産師、薬剤師、臨床検査技師、臨床心理士)およびロジスティシャン(物資調達管理調整員)、アドミニストレーター(財務・人事管理責任者)を常時募集しています。お気軽にお問い合わせください。

Tel: 03-5286-6161(担当直通)
E-mail: recruit@tokyo.msf.org
www.msf.or.jp/work/

2008年 国境なき医師団日本の資金援助対象国

Countries & Regions Funded by MSF Japan in 2008

2008年、国境なき医師団日本に寄せられた資金は、紛争や貧困により危機にさらされた人びとに医療・人道援助を届けるため、20の国と地域での活動に充てられました。

- …日本から活動資金の送られた国
- …その他のMSFの活動国・地域

ブルキナファソ

主なプログラム内容：栄養治療、感染症対策



スーダン

主なプログラム内容：基礎医療、外科治療、栄養治療、母子保健、予防接種、避難民の支援



コロンビア

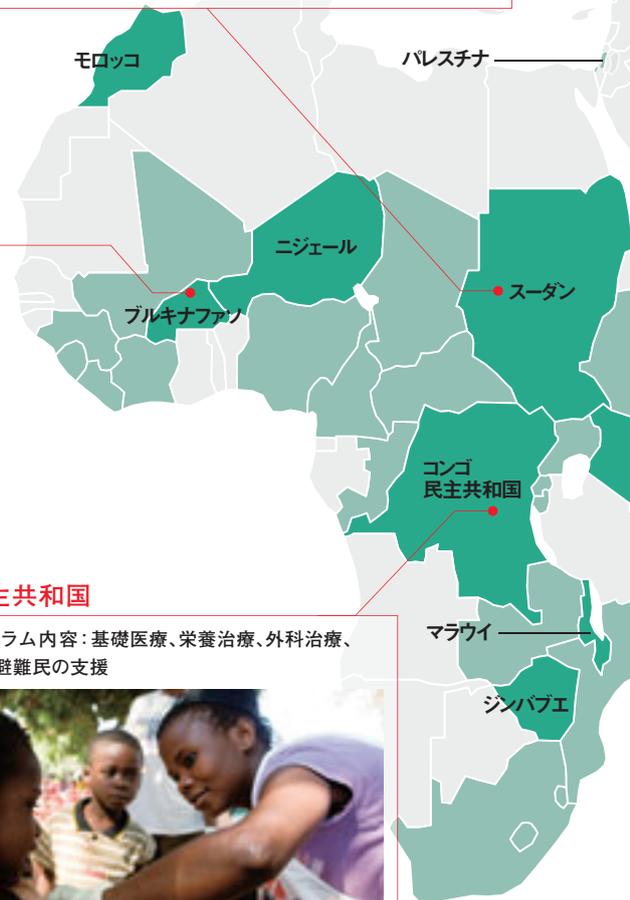
コロンビア

主なプログラム内容：基礎医療、心理ケア、母子保健、避難民の支援



コンゴ民主共和国

主なプログラム内容：基礎医療、栄養治療、外科治療、予防接種、避難民の支援



ゲルジア

主なプログラム内容: 結核治療、基礎医療、
避難民の支援



© Clement Saccomani

イラン

主なプログラム内容: 難民支援、外科治療(イラクから搬送される負傷者)



© Siavash MAGHSOUDI©2008

カンボジア

主なプログラム内容: HIV/エイズ治療



© Sylvain Chabloz

ケニア

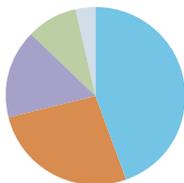
主なプログラム内容: HIV/エイズ治療、結核治療、
避難民の支援



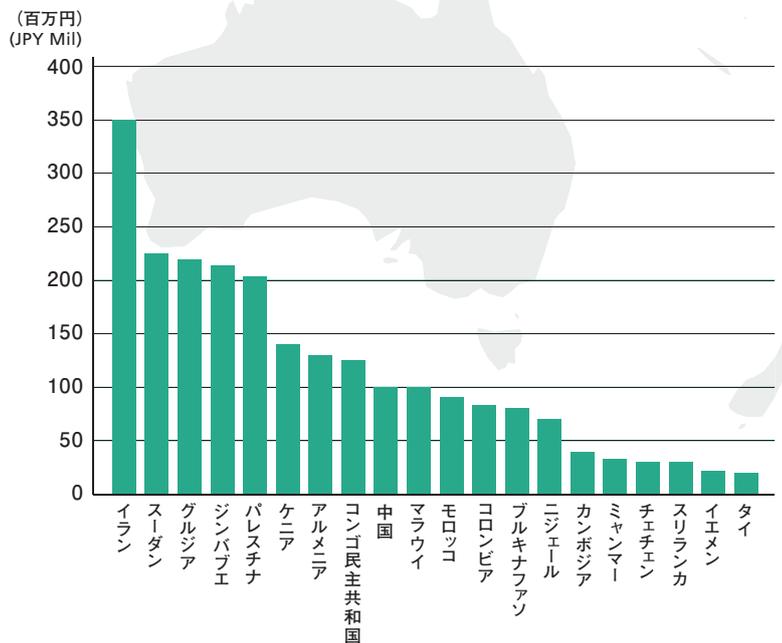
© Brendan Bannon

▶ 地域別実績および割合

■ アフリカ	10.5億円	45%
■ 中東	5.9億円	27%
■ コーカサス地方	3.8億円	16%
■ アジア	2.2億円	9%
■ 中南米	0.8億円	3%
	計23.2億円	100%



▶ 2008年度 MSF日本による国・地域別支援実績



財務ハイライト2008

2008年度を振り返ると、上半期にはミャンマーへのサイクロン襲来、中国四川省の大地震と大規模な自然災害が相次ぎました。金融危機に端を発した世界的な経済情勢の混乱と併せ、まさに激動の1年でした。そのような環境のもと、国境なき医師団(MSF)日本は、様々な団体、個人の皆様からのご支援、ご協力に支えられて更なる成長を遂げ、世界各地で展開されたMSFの医療・人道援助活動に対し、過去最大の資金援助並びに人的援助を提供することができました。以下で、2008年度を通してのMSF日本の活動を、資金の流れに沿って概観します。

1. 総収入は32.3億円となりました。



2. 寄付金による収入32.0億円の内訳は?



皆様からのご支援は2008年度の救援事業において、以下のように使用させていただきました。

3. 救援事業活動費35.1億円の内訳は?

海外での救援活動と国内・外での広報・証言活動をあわせた「ソーシャル・ミッション」と国内での経費である「募金調達活動」及び「一般管理」に大別されます。



4. ソーシャル・ミッション26.0億円の内訳は?

現地への支援金、現地への派遣者のリクルートやトレーニングに要する国内でのサポート費用、広報・証言活動に大別されます。



上記の比率は救援事業活動費の合計35.1億円に対するもの。

5. 海外での救援活動支援費23.2億円の内訳は?

現地への支援金は、MSF日本がパートナーシップを結ぶMSFフランスとMSFスペイン及びMSFスイスを通じて各プログラムへ送られました。



6. 海外での救援活動支援費の割り当て先は?

2008年度、MSF日本が送った支援金は、20の国と地域でのMSFの医療・人道援助活動にあてられました。国・地域別の支援実績、プログラム内容については、15-16ページをご覧ください。

▶ 寄付金について

● 寄付者の総数は?	12万3千人
● 現物寄付は?	600万円
● 使途指定寄付金は?	計5500万円
- ミャンマーサイクロン	3300万円
- 四川大地震等	2200万円

▶ その他の主な経費の内訳は?

<募金調達+一般管理費>

● DMキャンペーン費	5億1500万円
● 人件費	9900万円
● 業務手数料	1億3100万円
● 原価償却、搬送費等	1億6000万円

<日本国内での現地サポート費>

● 人件費	4200万円
● その他	4000万円

<証言活動費>

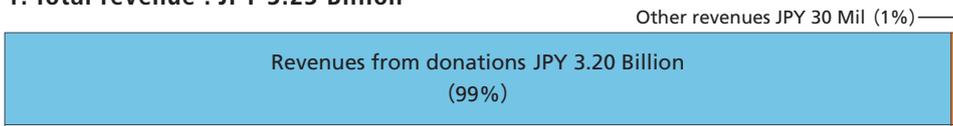
● 必須医薬品キャンペーン	1200万円
● 広報キャンペーン費等	1億1600万円
● 家賃・人件費等	7500万円

<その他>

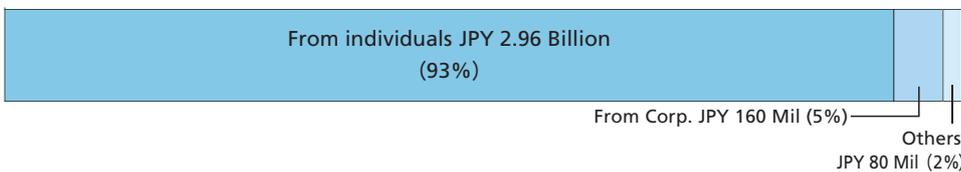
● MSFスイス	3300万円
● 緊急用ファンド	1600万円

When looking back at 2008, it was really a turbulent year, starting with two terrible natural disasters, the floods in Myanmar due to the Cyclone Nargis and the large scale earthquake in Sichuan, China. As for the world economic situation, it has been in great turmoil due to the world-wide financial crisis. However, amid such turbulent environment, MSFJ, thanks to the never-changing generous support of our donors, was able to raise the highest level of funds in our history. This enables MSFJ to successfully perform its duties to transfer the good faith of our donors to support field projects by financial grants as well as to send volunteer staffs to the field to work in MSF missions around the world. The activities of MSFJ for the whole fiscal year 2008 are shown in the "Flow of Funds" presented below.

1. Total revenue : JPY 3.23 Billion



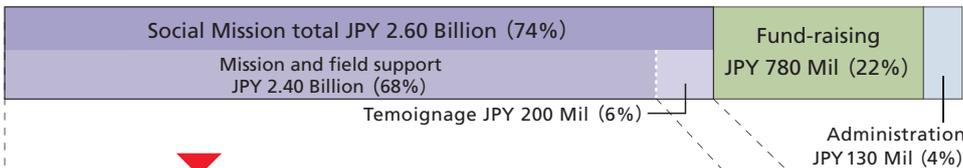
2. Classification of Donations Revenues of JPY 3.20 Billion



MSFJ allocated the funds from donors as below in the operating activities implemented in fiscal year 2008.

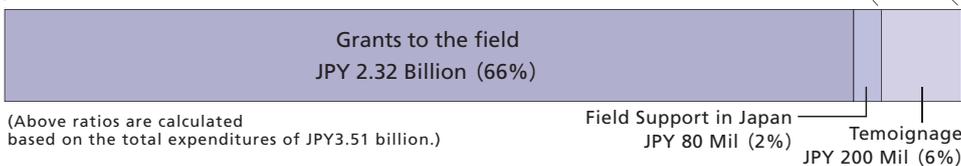
3. Total expenditures for operating activities : JPY 3.51 Billion

Classified into Social Mission (including temoignage) , Fund-raising and Administration.



4. Classification of Social Mission of JPY2.60 Billion

Classified into "Grants to the field", "Expenses for field support activity in Japan" such as recruiting and training of expatriate staff and "Temoignage".



(Above ratios are calculated based on the total expenditures of JPY3.51 billion.)

5. How were the grants of JPY 2.32 Billion allocated?

All grants have been sent to programs implemented in the field by MSF-France, MSF-Spain and MSF-Switzerland.



6. How were the grants used?

Grants which were sent by MSFJ were finally allocated in 20 countries. Please see further details in the pages 15-16.

► About Donations

Total number of donors	123,000
Inkind donations	JPY 6 Mil
Earmarked donations	Total JPY 55 Mil
- Myanmar Cyclone	JPY 33 Mil
- Sichuan earthquake	JPY 22 Mil

► Breakdown of other major expenses

< Fund-raising + Administration > (JPY)

DM Campaigns	515 Mil
Personnel	99 Mil
Commission	131 Mil
Depreciation, Delivery, etc.	160 Mil

< Field support expenses in Japan > (JPY)

Personnel	42 Mil
Others	40 Mil

< Temoignage > (JPY)

Access Campaign	12 Mil
Advertisement etc	116 Mil
Office rent, personnel, etc.	75 Mil

< Others > (JPY)

MSF-Switzerland	33 Mil
Emergency funds	16 Mil

I) 財務状況の概況

2008年度の世界経済は、下半期において米国発のサブプライム・ローン問題を契機とした金融危機が全世界に波及しました。その影響によって年度後半より、従前の対ユーロ円安から一方的な円高が進みました。国境なき医師団(MSF)日本は、海外のオペレーション支部と外貨ベースでの取引をしておりますが、急激な為替変動の影響は軽微なものでした。

厳しさを増す経済情勢下にもかかわらず、皆様方の多大なるご支援により、MSF日本の2008年度の総収入額は32億3000万円となり、初めて30億円を超え前年同期比で9億2400万円(40%)増加しました。

また総支出額は35億1500万円となり、前年同期比で13億3300万円(61%)増加しました。そのうち、23億2000万円を海外での救援活動支援費にあてることができ、支援額は前年同期比で10億円(75%)の増加となりました。

当期は総支出が総収入を上回った結果、「当期一般正味財産増減額」は2億8000万円のマイナスとなりました。この主要因は、パートナーシップ関係にあるMSFフランス及びMSFスペインが展開する医療救援プログラムへの資金援助を強化したこと及びミャンマーのサイクロン被害等に対し緊急支援を行ったことにあります。その結果、「一般正味財産期末残高」は前年同期比で2億8000万円減少し、1億9300万円となりました。

II) 救援活動の概況

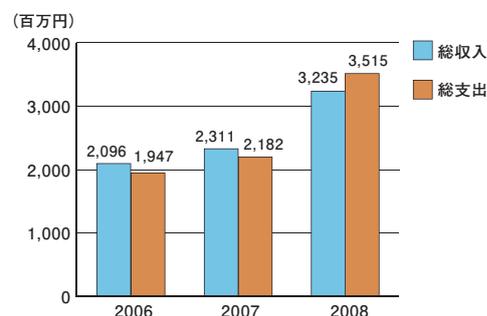
(1) 総収入及び総支出

過去3カ年の推移

(百万円)

事業年度	2006	2007	2008	増減(08/07)
総収入	2,096	2,311	3,235(注)	40.0%
総支出	1,947	2,182	3,515	61.1%

(注) 2008年度の総収入は、正味財産増減計算書総括表の「経常収入」31億7100万円と「経常外収益」の6400万円の合計。

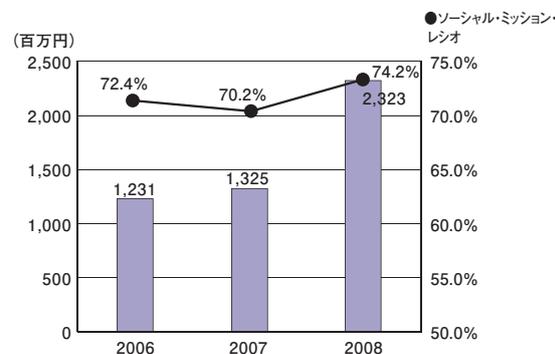


(2) 救援活動支援費の過年度実績

(百万円)

事業年度	2006	2007	2008	増減(08/07)
海外での救援活動支援費	1,231	1,325	2,323	75.3%

2008年度は、MSFフランス及びMSFスペインに対し、それぞれ15億8000万円及び6億9000万円の資金提供を行うとともに、MSFスイスを通じてミャンマーでのサイクロン被害に対する緊急支援(3300万円)を行いました。海外での救援活動支援費は前年同期比で75%増加となりました。なお2008年度の指定寄付金は、ミャンマー関連3300万円、四川大地震関連2200万円等で計5500万円でした。



(3) 総支出額に占める救援事業の各活動費の推移

(百万円)

事業年度	2006	2007	2008	増減(08/07)
救援活動費	1,317	1,402	2,406	1,004
広報・証言活動費	93	130	203	73
小計(ソーシャル・ミッション)	1,410	1,532	2,609	1,077
ソーシャル・ミッション・レシオ(注1)	72.4%	70.2%	74.2%	4.0%
募金調達活動費	449	536	775(注2)	239
一般管理費	88	114	131	17
総計	1,947	2,182	3,515	1,333

(注1) 海外での救援活動と国内・外での広報・証言活動をあわせ「ソーシャル・ミッション」という。総支出額に占めるその割合(ソーシャル・ミッション・レシオ)を高めることがMSF日本の最優先の使命であり、且つ最大の目標である。

(注2) 将来における募金獲得の為の布石としての先行投資分を含む。

III) キャッシュ・フローの状況

事業活動においては、寄付金等による31億4500万円の収入に対し、救援活動支援費として海外での救援活動支援費21億円を含む30億4000万円を支出した結果、キャッシュ・フローは1億500万円の収入となりました。投資活動は事務所移転による敷金の支払い、固定資産等の取得の結果、3100万円の支出となりました。これに財務活動によるリース債務支出を加算した結果、当期末における現金及び現金等価物の残高は5億4500万円となりました。前年同期比で6000万円増加しております。

本財務報告は、世界19カ国のMSF支部が採用するMSF会計基準に準じて作成されております。なお、頂いた寄付金の国内・外での用途については、できる限り透明性を維持し明瞭な開示を心掛けております。

※財務報告はウェブサイトでもご覧いただけます。

I) Financial overview

The world economy in 2008 saw a spreading financial crisis which originally occurred in US, and amid this economic turmoil the Yen has continued to appreciate against the Euro. Fortunately MSFJ had a very slight negative impact from currency fluctuations, although it had transaction in both Yen and Euro mainly for grants payments to overseas operating centers.

Despite the severe economic situation, compared with fiscal year 2007 total revenue in fiscal year 2008 increased by JPY 924 Mil (40%) to JPY 3.23 Billion, surpassing JPY 3 Billion for the first time thanks to continuous support by our donors.

Total expenditures also increased by JPY 1.333 Billion (61%) compared with fiscal year 2007, to JPY 3.515 Billion. Out of this, JPY 2.32 Billion was allocated to direct financial support to the field as grants, an increase of JPY 1 Billion (75%) compared with fiscal year 2007.

As a result of the above mentioned activities, "Increase in non-earmarked net assets" became minus JPY 280 Mil, which was mainly due to enhancement of financial support to the field, including the emergency intervention in Myanmar. Net assets at end of year consequently decreased by JPY 280 Mil, to JPY 193 Mil.

II) Overview of Operation

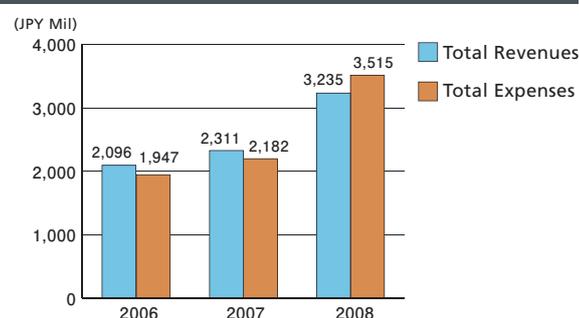
(1) Total revenue and total expenditures

Changes in the past 3 years

(JPY Mil)

Fiscal Year	2006	2007	2008	Change(08/07)
Total Revenues	2,096	2,311	3,235(※)	40.0%
Total Expenses	1,947	2,182	3,515	61.1%

(※) Total revenues are calculated by the total of operating revenues JPY 3.171 Bil and non-operating revenues JPY 64 Mil in the "Summary of Net Assets Changes".

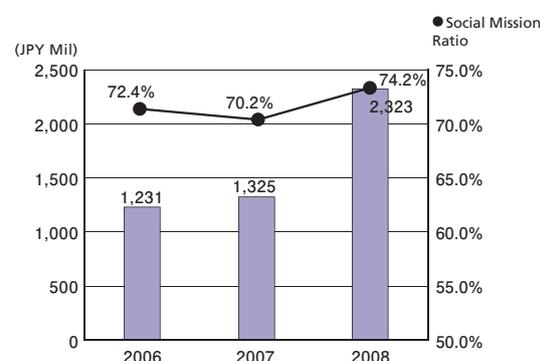


(2) Growth of grants in the past 3 years

(JPY Mil)

Fiscal Year	2006	2007	2008	Change(08/07)
Grants	1,231	1,325	2,323	75.3%

In 2008, MSFJ provided grants to MSF-France and MSF-Spain, JPY 1.58 Billion and JPY 690 Mil respectively, and MSF-Switzerland as emergency funds for the Myanmar Cyclone disaster. Earmarked donations in 2008 includes JPY 33 Mil for Myanmar and JPY 22 Mil for Sichuan Earthquake etc.



(3) Each activities comprising total expenditures

(JPY Mil)

Fiscal Year	2006	2007	2008	Changes(08/07)
Grants and field support operation	1,317	1,402	2,406	1,004
Temoignage	93	130	203	73
Social Mission	1,410	1,532	2,609	1,077
Social Mission Ratio (※1)	72.4%	70.2%	74.2%	4.0%
Fund-raising activities	449	536	775(※2)	239
General administration	88	114	131	17
Total expenditures	1,947	2,182	3,515	1,333

(※1) Ratio of social Mission (grants, field support operation and temoignage) to total expenses. Increasing this ratio is the most prioritized target for MSF.

(※2) Including prior investment for the development of potential donors.

III) Cash Flow Status

Net cash provided by humanitarian operating activities was JPY 105 Mil resulting from donation revenue of JPY 3.145 Billion and expenditures of JPY 3.04 Billion including JPY 2.1 Billion of grants to the field. Net cash used in investing was JPY 31 Mil, mainly for purchase of fixed assets for office relocation. As a result of the factors mentioned above with additional net cash used for financing activities, cash and cash equivalents increased by JPY 60 Mil, to JPY 545 Mil compared with 2007.

This report was prepared based on MSF accounting standards which is consistently adopted by all sections located in 19 countries. We make sure to disclose how we utilized donations with a clear picture and sufficient transparency.

※Financial report is available at our website.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

正味財産増減計算書総括表

自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日

(単位:円)

科 目	一般会計	収益事業会計	合 計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①寄付収入 (注1)	3,136,827,174		3,136,827,174
一般個人寄付収入	2,900,262,302		2,900,262,302
一般法人寄付収入	162,492,511		162,492,511
その他の団体からの収入	74,072,361		74,072,361
②その他の収入	34,337,489	435,520	34,773,009
利息収入	17,806,379	2,135	17,808,514
講演会収入	463,030		463,030
物品販売による収入		433,175	433,175
その他(為替評価益等)	16,068,080	210	16,068,290
経常収入	3,171,164,663	435,520	3,171,600,183
(2) 経常費用			
ソーシャル・ミッション			
①救援活動費	2,405,856,879		2,405,856,879
海外での救援活動支援費 (注3)	2,323,043,699		2,323,043,699
その他海外での人道救援活動費(注4)	23,119,740		23,119,740
人件費	42,319,600		42,319,600
旅費交通費	3,095,820		3,095,820
広告宣伝費	1,194,991		1,194,991
その他(家賃、減価償却費等)	13,083,029		13,083,029
②広報活動費	203,791,002		203,791,002
必須医薬品キャンペーン (注4)	12,287,252		12,287,252
人件費	41,071,325		41,071,325
広告宣伝費	37,873,800		37,873,800
業務手数料	31,372,346		31,372,346
ニュースターによる広報活動費	46,801,000		46,801,000
その他(家賃、減価償却費等)	34,385,279		34,385,279
募金活動費	774,302,778	904,306	775,207,084
人件費	44,168,302		44,168,302
DM・ニュースター等キャンペーン費用	515,301,943		515,301,943
業務手数料	115,812,330	382,354	116,194,684
広告宣伝費	47,430,073	39,513	47,469,586
搬送費・電郵費	20,351,885	380	20,352,265
その他(家賃、減価償却費等)	31,238,245	482,059	31,720,304
一般管理費	130,542,920		130,542,920
MSP(インターナショナル)・オフィス経費 (注4)	23,254,490		23,254,490
人件費	55,563,992		55,563,992
旅費交通費	7,633,034		7,633,034
減価償却費	6,816,113		6,816,113
業務手数料	15,355,299		15,355,299
その他(家賃、印刷費等)	21,919,992		21,919,992
経常費用 計	3,514,493,579	904,306	3,515,397,885
2. 経常外増減の部			
経常外収益の部 (注2)	63,667,994		63,667,994
当期経常外増減額	63,667,994		63,667,994
当期一般正味財産増減額	△ 279,660,922	△ 468,786	△ 280,129,708
一般正味財産期首残高	473,452,681	162,997	473,615,678
一般正味財産期末残高	193,791,759	△ 305,789	193,485,970
II. 指定正味財産増減の部			
1. 収入の部			
使途指定寄付金収入 (注5)	55,425,544		55,425,544
2. 支出の部			
使途指定救援活動支援費 (注5)	55,425,544		55,425,544
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III. 正味財産期末残高	193,791,759	△ 305,789	193,485,970

(注1) 現物寄付合計 5,740,170円を含む。

(注2) 寄付収入の合計は、(注1)の額と経常外収益(注2)の内の60,669,639円を加えた3,197,496,813円となる。

(注3) MSFのオペレーティング・センター(パリ、バルセロナ及びジュネーブ) 経由、期末未払分を除き全額現地へ送金済み。

(注4) いずれも海外での各種の救援活動費・運営費のMSF J負担分である。

(注5) 使途指定寄付金 55,425,544円については、当期中に(注3)の救援活動支援費の一部として全額当該現地へ送金済み。

Non-Profit Organization Medecins Sans Frontieres Japon

Summary of Net Assets Changes

Fiscal Year 2008 (From January 1, 2008 To December 31, 2008)

(Unit: JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit-making Activity	Total
I Non-earmarked Net Assets Changes			
1. Changes in Operating Item			
(1) Operating Revenues			
① Donations	3,136,827,174		3,136,827,174
Donations from private donors (※1)	2,900,262,302		2,900,262,302
Donations from private organizations (※1)	162,492,511		162,492,511
Donations from other organizations (※1)	74,072,361		74,072,361
② Other Revenues	34,337,489	435,520	34,773,009
Interest income	17,806,379	2,135	17,808,514
Revenues from conference	463,030		463,030
Revenues from sale of goods		433,175	433,175
Others (foreign exchange gains etc.)	16,068,080	210	16,068,290
Total Operating Revenues	3,171,164,663	435,520	3,171,600,183
(2) Operating Expenditure			
① Social Mission			
Field Support	2,405,856,879		2,405,856,879
Direct financial support to the field(Grants) (※3)	2,323,043,699		2,323,043,699
Other humanitarian activities (DNDi) (※4)	23,119,740		23,119,740
Personnel expenses	42,319,600		42,319,600
Travel expenses	3,095,820		3,095,820
Advertisement	1,194,991		1,194,991
Other expenses (Office rent, Depreciation etc.)	13,083,029		13,083,029
Awareness-raising / Public Education	203,791,002		203,791,002
Contribution to Access Campaign (※4)	12,287,252		12,287,252
Personnel expenses	41,071,325		41,071,325
Advertisement	37,873,800		37,873,800
Commissions	31,372,346		31,372,346
News letter campaign	46,801,000		46,801,000
Other expenses (Office rent, Depreciation etc.)	34,385,279		34,385,279
② Fund-raising	774,302,778	904,306	775,207,084
Personnel expenses	44,168,302		44,168,302
Direct mail and news letter campaign	515,301,943		515,301,943
Commissions	115,812,330	382,354	116,194,684
Advertisement	47,430,073	39,513	47,469,586
Mailing, Delivery and Telecommunications	20,351,885	380	20,352,265
Other expenses (Office rent, Depreciation etc.)	31,238,245	482,059	31,720,304
③ General Administration	130,542,920		130,542,920
Support to MSF International Office (※4)	23,254,490		23,254,490
Personnel expenses	55,563,992		55,563,992
Travel expenses	7,633,034		7,633,034
Depreciation	6,816,113		6,816,113
Commissions	15,355,299		15,355,299
Other expenses (Office rent, printing etc.)	21,919,992		21,919,992
Total Operating Expenditure	3,514,493,579	904,306	3,515,397,885
2. Changes in Non-Operating Item			
Non-operating revenues (※2)	63,667,994		63,667,994
Net increase in non-operating item	63,667,994		63,667,994
Increase in non-earmarked Net Assets	△ 279,660,922	△ 468,786	△ 280,129,708
Non Earmarked Net Assets at Beginning of Year	473,452,681	162,997	473,615,678
Non Earmarked Net Assets at End of Year	193,791,759	△ 305,789	193,485,970
II Earmarked Net Assets Changes			
1. Revenues			
Earmarked Donations (※5)	55,425,544		55,425,544
2. Expenditure			
Earmarked Grants (※5)	55,425,544		55,425,544
Changes in earmarked Net Assets			
Earmarked Net Assets at Beginning of Year			
Earmarked Net Assets at End of Year			
III Net Assets at End of Year	193,791,759	△ 305,789	193,485,970

Notes: (※1) Including in-kind donations of JPY 5,740,170

(※2) Total donation is JPY 3,197,496,813 including JPY 60,669,639 as a major part of non-operating revenues.

(※3) Funds were sent to MSF operating centers (Paris, Barcelona and Geneva) during the year, with outstanding accounts payable.

(※4) Contribution or expenditures to the overseas activities

(※5) Earmarked donations of 55,425,544 were also sent to the field together with the other grants (※3) in the current fiscal year.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本
貸借対照表 総括表

平成20年 12月 31日現在

(単位:円)

	一般合計	収益事業特別会計	内部取引消去	合計
I. 資産の部				
1. 流動資産				
現金及び預金	543,975,088	789,377		544,764,465
未収入金 (注1)	69,523,453			69,523,453
貯蔵品	78,107			78,107
その他未収入金	475,346	88		475,434
前払費用	2,302,523			2,302,523
立替金	22,744,382			22,744,382
仮払金	1,074,504			1,074,504
貸倒引当金	△ 418,000			△ 418,000
収益事業特別会計勘定	811,254		△ 811,254	0
流動資産合計	640,566,657	789,465	△ 811,254	640,544,868
2. 固定資産				
建物附属設備 (注2)	39,410,073			39,410,073
事務用什器・備品 (注2)	22,138,076			22,138,076
ソフトウェア	1,306,744			1,306,744
リース資産	22,275,058			22,275,058
長期差入保証金 (注2)	30,343,970			30,343,970
固定資産合計	115,473,921			115,473,921
資産合計	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金 (注3)	222,319,666			222,319,666
未払費用 (注2)	296,805,363	210,000		297,015,363
預り金等	492,500			492,500
短期リース債務	14,480,975			14,480,975
未払税金等		74,000		74,000
一般事業会計勘定		811,254	△ 811,254	0
流動負債合計	534,098,504	1,095,254	△ 811,254	534,382,504
2. 固定負債				
長期リース債務	28,150,315			28,150,315
固定負債合計	28,150,315			28,150,315
負債合計	562,248,819	1,095,254	△ 811,254	562,532,819
III. 正味財産の部				
一般正味財産	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
正味財産合計	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
負債及び正味財産合計	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789

注1) 外部の集金代行業者により既に集金が完了している寄付金で、期末現在未収のもの。

注2) オフィスの移転に伴う工事代及び什器・備品等を含む。財産目録総括表を参照。

注3) 2008年度のオペレーション・センター向けの確定支援金のうち期末現在未払い分。財産目録総括表を参照。

Non-Profit Organization
Medecins Sans Frontieres Japon
Summary of Balance Sheet

(As of December 31, 2008)

(Unit JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit making	Elimination of internal transaction	Total
I Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	543,975,088	789,377		544,764,465
Accounts receivable (※1)	69,523,453			69,523,453
Supplies	78,107			78,107
Other receivable	475,346	88		475,434
Prepaid expenses	2,302,523			2,302,523
Advances	22,744,382			22,744,382
Suspense payment	1,074,504			1,074,504
Bad debt allowance	△ 418,000			△ 418,000
Specific account for profit-making activities	811,254		△ 811,254	0
Total Current Assets	640,566,657	789,465	△ 811,254	640,544,868
2. Non Current Assets				
Buildings and structures (※2)	39,410,073			39,410,073
Equipment and fixtures (※2)	22,138,076			22,138,076
Software	1,306,744			1,306,744
Leased assets	22,275,058			22,275,058
Long-term deposits (※2)	30,343,970			30,343,970
Total Non Current Assets	115,473,921			115,473,921
Total Assets	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789
II Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accounts payable (※3)	222,319,666			222,319,666
Accrued expenses (※2)	296,805,363	210,000		297,015,363
Deposits received	492,500			492,500
Short-term lease obligation	14,480,975			14,480,975
Taxes payable		74,000		74,000
General account for MSF operation		811,254	△ 811,254	0
Total Current Liabilities	534,098,504	1,095,254	△ 811,254	534,382,504
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	28,150,315			28,150,315
Total Non Current Liabilities	28,150,315			28,150,315
Total Liabilities	562,248,819	1,095,254	△ 811,254	562,532,819
III Net Assets				
Non-earmarked Net Assets	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
Total Net Assets	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
Total Liabilities and Net Assets	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789

Notes :

(※1) Collection from donors has already been completed by outsourced agent at the end of current fiscal year.

(※2) Include office furniture and remodelling works due to office relocation. See "Summary of Assets" for further details.

(※3) Outstanding balance out of agreed grants according to finance agreement. See "Summary of Assets" for further details.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

財産目録総括表

平成20年 12月31日 現在

(単位:円)

	一般合計	収益事業会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金及び預金	543,975,088	789,377		544,764,465
・手許現金	985,049			985,049
・普通預金 (㈱三菱東京UFJ銀行他)	458,398,086	371,737		458,769,823
・振替貯金 (ゆうちょ銀行)	84,591,953	417,640		85,009,593
未収入金 注1)	69,523,453			69,523,453
貯蔵品	78,107			78,107
その他未収入金	475,346	88		475,434
前払費用	2,302,523			2,302,523
立替金	22,744,382			22,744,382
・MSF フランス	9,462,412			9,462,412
・海外派遣者立替経費等	13,281,970			13,281,970
仮払金	1,074,504			1,074,504
貸倒引当金	△ 418,000			△ 418,000
収益事業特別会計勘定	811,254		△ 811,254	0
流動資産合計	640,566,657	789,465	△ 811,254	640,544,868
2. 固定資産				
建物附属設備 注2)	39,410,073			39,410,073
・内装工事 (空調・電気・LAN回線)	39,410,073			39,410,073
器具備品 注2)	22,138,076			22,138,076
・事務用什器/備品	9,057,403			9,057,403
・IT及び通信機器	11,646,369			11,646,369
・オーディオ機器等	1,434,304			1,434,304
ソフトウェア	1,306,744			1,306,744
リース資産	22,275,058			22,275,058
・寄付金管理システム	21,443,591			21,443,591
・備品等	831,467			831,467
長期差入保証金 注2)	30,343,970			30,343,970
事務所・職員社宅敷金	30,343,970			30,343,970
固定資産合計	115,473,921			115,473,921
資産合計	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789
II. 負債の部				
1. 流動負債				
未払金 注3)	222,319,666			222,319,666
・MSF フランス向け支援金	150,823,766			150,823,766
・MSF スペイン向け支援金	71,495,900			71,495,900
未払費用 注2)	296,805,363	210,000		297,015,363
・DMキャンペーン費用	176,919,185			176,919,185
・オフィス改装工事代等	119,886,178	210,000		120,096,178
預り金等	492,500			492,500
短期リース債務(1年以内返済分)	14,480,975			14,480,975
未払税金等		74,000		74,000
一般事業特別会計勘定		811,254	△ 811,254	0
流動負債合計	534,098,504	1,095,254	△ 811,254	534,382,504
2. 固定負債				
長期リース債務	28,150,315			28,150,315
固定負債合計	28,150,315			28,150,315
負債合計	562,248,819	1,095,254	△ 811,254	562,532,819
III. 正味財産の部				
一般正味財産	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
正味財産合計	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
負債及び正味財産合計	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789

注1) 外部の集金代行業者により既に集金が完了している寄付金で、期末現在未収のもの。

注2) オフィス移転に伴う工事代及び什器・備品等を含む。

注3) 2008年度の確定支援金のうち期末時点での未払い分。

Summary of Assets

As of December 31, 2008

(Unit JPY)

Title	Non-Profit Activity	Profit-making Activity	Elimination of Internal Transaction	Total
I Assets				
1. Current Assets				
Cash and cash equivalents	543,975,088	789,377		544,764,465
Petty cash	985,049			985,049
Ordinary accounts with banks	458,398,086	371,737		458,769,823
Saving accounts with Yucho Bank	84,591,953	417,640		85,009,593
Accounts receivable (※1)	69,523,453			69,523,453
Supplies	78,107			78,107
Other receivable	475,346	88		475,434
Prepaid expenses	2,302,523			2,302,523
Advances	22,744,382			22,744,382
MSF France	9,462,412			9,462,412
Other Ope. Centers for the expats	13,281,970			13,281,970
Suspense payment	1,074,504			1,074,504
Bad debt allowance	△ 418,000			△ 418,000
Specific account for profit-making activities	811,254		△ 811,254	0
Total Current Assets	640,566,657	789,465	△ 811,254	640,544,868
2. Non Current Assets				
Buildings and structures (※2)	39,410,073			39,410,073
Electricity and communication lines	39,410,073			39,410,073
Equipment and fixtures (※2)	22,138,076			22,138,076
Office/Furniture & others	9,057,403			9,057,403
IT related equipment	11,646,369			11,646,369
Audio equipment	1,434,304			1,434,304
Software	1,306,744			1,306,744
Leased assets	22,275,058			22,275,058
Donation management system	21,443,591			21,443,591
Equipment etc	831,467			831,467
Long-term deposits (※2)	30,343,970			30,343,970
For rent of office and staffs houses	30,343,970			30,343,970
Total Non Current Assets	115,473,921			115,473,921
Total Assets	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789
II Liabilities				
1. Current Liabilities				
Accounts payable (※3)	222,319,666			222,319,666
Grants for MSF France	150,823,766			150,823,766
Grants for MSF Spain	71,495,900			71,495,900
Accrued expenses (※2)	296,805,363	210,000		297,015,363
DM campaign related expenses	176,919,185			176,919,185
Cost for office interior finishing etc	119,886,178	210,000		120,096,178
Deposits received	492,500			492,500
Short-term lease obligation	14,480,975			14,480,975
Taxes payables		74,000		74,000
General account for MSF operation		811,254	△ 811,254	0
Total Current Liabilities	534,098,504	1,095,254	△ 811,254	534,382,504
2. Non Current Liabilities				
Long-term lease obligation	28,150,315			28,150,315
Total Non Current Liabilities	28,150,315			28,150,315
Total Liabilities	562,248,819	1,095,254	△ 811,254	562,532,819
III Net Assets				
Non-Earmarked Net Assets	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
Total Net Assets	193,791,759	△ 305,789		193,485,970
Total Liabilities and Net Assets	756,040,578	789,465	△ 811,254	756,018,789

Notes:

- (※1) Collection from donors has already been completed by outsourced agent at the end of current fiscal year.
(※2) Include office remodeling works, furniture and equipment due to office relocation.
(※3) Outstanding balance out of the agreed grants according to finance agreement.

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

キャッシュ・フロー計算書

自 2008年1月1日
至 2008年12月31日

				(単位:千円)	€ 1,000		
				当期 (2008年)	前期 (2007年)	増 減	
I. 人道救援活動によるキャッシュ・フロー:							
人道救援活動による収入							
(1) 寄付金収入	小計	3,197,497	2,285,126	912,371	21,026		
①一般個人寄付収入		2,960,932	2,100,705	860,227	19,471		
②一般法人寄付収入		162,493	131,150	31,343	1,069		
③その他団体からの寄付収入		74,072	53,271	20,801	486		
(2) その他収入		37,874	4,037	33,837	250		
(3) 現物寄附等の調整		△ 5,740	△ 21,978	16,238	△ 38		
(4) 寄付未収金の増減の調整		△ 69,274		△ 69,274	△ 456		
(5) 為替差損益の調整		△ 15,538		△ 15,538	△ 102		
(6) その他の調整			2,220	△ 2,220	0		
救援活動収入 合計				3,144,818	2,269,405	875,413	20,680
人道救援活動による支出							
(1) ソーシャル・ミッション活動による支出							
①救援活動による支出	小計	2,402,864	1,391,966	1,010,898	15,801		
現地救援活動支援費		2,323,044	1,319,104	1,003,940	15,276		
その他の人道救援活動費		23,120	25,388	△ 2,268	152		
その他経費 (人件費、旅費交通費等)		56,701	47,474	9,227	373		
②広報・証言活動による支出	小計	188,000	116,499	71,501	1,236		
必須医薬品キャンペーン		12,287	8,949	3,338	81		
広告宣伝費及びニュースレター・キャンペーン費用		81,094	56,735	24,359	533		
その他経費		94,618	50,815	43,803	622		
③未払支援金の増減による調整		△ 222,320		△ 222,320	△ 1,462		
(2) 募金調達活動による支出	小計	596,800	506,650	90,150	3,925		
ダイレクトメール・キャンペーン費用		341,016	344,491	△ 3,475	2,243		
人件費及び業務手数料		150,749	108,837	41,912	992		
その他経費		105,035	53,322	51,713	690		
(3) 一般管理費の支出	小計	124,575	105,145	19,430	819		
MSFインターナショナル事務所経費		23,254	18,036	5,218	153		
人件費		54,322	59,183	△ 4,861	357		
家賃・減価償却費・手数料他		46,999	27,926	19,073	309		
(4) 事業活動のキャッシュ・フローにするための調整	小計	△ 49,926	△ 7,694	△ 42,232	△ 328		
①減価償却費の調整		△ 24,952	△ 7,456	△ 17,496	△ 164		
②為替差損益に係る調整		△ 15,573		△ 15,573	△ 102		
③その他資産・負債の増減の調整		△ 9,401	△ 238	△ 9,163	△ 62		
救援活動支出 合計				3,039,994	2,112,566	927,428	19,991
人道救援活動によるキャッシュ・フロー				104,825	156,839	△ 52,014	689
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー:							
敷金戻り及び貸付金回収		2,398	1,702	696	16		
敷金の支出		△ 29,083	△ 840	△ 28,243	△ 191		
有形固定資産等の取得による支出		△ 4,447	△ 3,521	△ 926	△ 30		
投資活動によるキャッシュ・フロー				△ 31,132	△ 2,659	△ 28,473	△ 205
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー:							
リース債務支出		△ 14,032	△ 12,588	△ 1,444	△ 92		
財務活動によるキャッシュ・フロー				△ 14,032	△ 12,588	△ 1,444	△ 92
IV. 現金及び現金等価物に係る換算差額		△ 103	116	△ 219	△ 1		
V. 現金及び現金等価物の増減額		59,558	141,708	△ 82,150	391		
VI. 現金及び現金等価物の期首残高		485,206	343,498	141,708	3,191		
VII. 現金及び現金等価物の期末残高		544,764	485,206	59,558	3,582		

注) 1. 資金の範囲: 資金の範囲には現金及び現金同等物を含めている。
2. 現物寄附として受け入れた有形固定資産は、2,433,190円である。
3. 直近事業年度の表示に合わせ、一部過年度の数字を組換表示している。

Statement of Cash Flows

Fiscal Year 2008

(From January 1, 2008 To December 31, 2008)

	<i>In thousands of Yen</i>			<i>€ 1,000</i>	
	2008	2007	Changes	2008	
I. Cash flows from humanitarian operating activities:					
Revenue from Operations:					
(1) Cash flows from private donors	total	3,197,497	2,285,126	912,371	21,026
① Donation from private individual donors		2,960,932	2,100,705	860,227	19,471
② Donation from private organizations		162,493	131,150	31,343	1,069
③ Donation from other organizations		74,072	53,271	20,801	486
(2) Other revenues		37,874	4,037	33,837	250
(3) Adjustment of inkind donations		△ 5,740	△ 21,978	16,238	△ 38
(4) Increase in donations receivable		△ 69,274		△ 69,274	△ 456
(5) Adjustment of elimination of exchange gain		△ 15,538		△ 15,538	△ 102
(6) Other adjustment			2,220	△ 2,220	0
Total Revenue from humanitarian operations		3,144,818	2,269,405	875,413	20,680
Expenditures for humanitarian operations:					
(1) Expenditures for Social Mission :					
① Missions	total	2,402,864	1,391,966	1,010,898	15,801
Direct financial support to the field (grants)		2,323,044	1,319,104	1,003,940	15,276
Other humanitarian activities		23,120	25,388	△ 2,268	152
Other expenses(personnel etc)		56,701	47,474	9,227	373
② Awareness raising and public educations	total	188,000	116,499	71,501	1,236
Contribution to Access Campaign		12,287	8,949	3,338	81
Advertisement and news letter campaign		81,094	56,735	24,359	533
Other expenses		94,618	50,815	43,803	622
③ Changes in grants payable		△ 222,320		△ 222,320	△ 1,462
(2) Fund-raising expenditures:	total	596,800	506,650	90,150	3,925
Direct mail and news letter		341,016	344,491	△ 3,475	2,243
Personnel expenses and commissions		150,749	108,837	41,912	992
Other expenses		105,035	53,322	51,713	690
(3) General administrative expenditures:	total	124,575	105,145	19,430	819
Financial support to MSF International Office		23,254	18,036	5,218	153
Personnel expenses		54,322	59,183	△ 4,861	357
Office rent,depreciation,commissions etc		46,999	27,926	19,073	309
(4) Adjustment to net cash provided by operations	total	△ 49,926	△ 7,694	△ 42,232	△ 328
① Adjustment of depreciation		△ 24,952	△ 7,456	△ 17,496	△ 164
② Adjustment of foreign exchange gain		△ 15,573		△ 15,573	△ 102
③ Adjustment of other assets and liabilities		△ 9,401	△ 238	△ 9,163	△ 62
Total expenditures from operations:		3,039,994	2,112,566	927,428	19,991
Net cash provided by(used in) humanitarian operations:		104,825	156,839	△ 52,014	689
II. Cash flows from investing activities:					
Refund of deposits and loans receivable		2,398	1,702	696	16
Payment of deposits		△ 29,083	△ 840	△ 28,243	△ 191
Payment for purchase of fixed assets		△ 4,447	△ 3,521	△ 926	△ 30
Net cash flow used in investing activities:		△ 31,132	△ 2,659	△ 28,473	△ 205
III. Cash flows from financing activities:					
Repayment of lease obligation		△ 14,032	△ 12,588	△ 1,444	△ 92
Net cash provided by financing activities:		△ 14,032	△ 12,588	△ 1,444	△ 92
IV. Effect of exchange rate changes on cash and cash equivalents:					
		△ 103	116	△ 219	△ 1
V. Net increase(decrease) in cash and cash equivalents:		59,558	141,708	△ 82,150	391
VI. Cash and cash equivalents at beginning of year:		485,206	343,498	141,708	3,191
VII. Cash and cash equivalents at end of year:		544,764	485,206	59,558	3,582

Notes: 1. Scope of cash: Scope of cash includes cash and cash equivalents.

2. MSFJ received tangible fixed assets with value of 2,433,190 JPY as inkind donations.

3. Certain reclassification of previously reported amounts have been made to conform to the current fiscal year presentation.

財務諸表への注記

1. 財務諸表開示の基準

国境なき医師団日本（以下「MSFJ」）の財務諸表は、日本において一般に公正妥当と認められる会計原則（「Japanese GAAP」）に基づいて作成されておりますが、同原則は国際財務報告基準が求める適用要件や開示上の要件とは、幾つかの点で相違しております。

2. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法によっております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
 - ① 有形固定資産
定額法によっております。（耐用年数は3年及び5年）
 - ② ソフトウェア
定額法によっております。（耐用年数は3年）
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっております。
- (4) リース取引の処理方法
ファイナンス・リースに該当する取引はすべて「リース取引に係る会計基準」に準拠し、売買処理によってリース資産及びリース債務（短期及び長期リース債務）を計上する会計処理を行っております。尚、当該資産は償却資産並びにソフトウェアであり、3年又は5年に亘り減価償却しております。

3. 基本財産及び特定財産の増減額、その残高および財源等の内訳

指定正味財産（一般財産として受け入れた資産のうち、基本財産及び特定財産として区分・運用している財産・資産はありません。）

4. 担保に供している資産

該当事項はありません。

5. 固定資産の取得価額・減価償却累計額及び当期末残高

（単位：円）

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	40,078,040	667,967	39,410,073
什器	10,866,705	1,809,302	9,057,403
器具備品	21,321,671	9,675,302	11,646,369
ビデオ機器	2,717,532	1,283,228	1,434,304
ソフトウェア	3,641,166	2,334,422	1,306,744
リース資産（合計）	62,017,943	39,742,885	22,275,058
建物付附属設備	456,012	329,342	126,670
器具備品	2,179,680	1,474,883	704,797
ソフトウェア	59,382,251	37,938,660	21,443,591
総合計	140,643,057	55,513,106	85,129,951

6. 債権及び債務の当期末残高

債権の額及び貸倒引当金の当期末残高は次の通りです。

科目	債権額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収寄付金	69,523,453	418,000	69,105,453
その他未収入金	475,434	0	475,434
合計	69,998,887	418,000	69,580,887

7. 保証債務等の偶発債務

該当事項はありません。

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価額

該当事項はありません。

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当事項はありません。

10. 関連当事者との取引の内容

該当事項はありません。

11. 重要な後発事象

該当事項はありません。

12. その他

(1) 寄付金の未収計上について

外部に集金代行を委託している寄付金のうち、代行先にて当期中に既に回収を完了した70百万円について未収金を計上しております。当該集金代行委託分は、2008年12月中に寄付者からの集金が既に完了している事より、当期での計上が、期間収支の把握上より合理的であると判断致しました。なおこの措置に伴い、2008年度に計上した2007年12月の回収分61百万円については、「正味財産増減計算書総括表」の経常外収益の部に計上しております。

(2) 外貨建取引について

当期から、海外への支援金の支払に際しては、従来の円建てに限らず、ユーロ建てを含め柔軟に対応しました。同時に余剰資金につき、リスクフリーの外貨建国債での運用を始めました。外貨建資産の取扱いに際しては、保有する資産・負債の保有バランスを均衡させる事によって為替リスクを極力ヘッジし、エクスポージャーを最小限に抑えるべく留意しております。

(3) キャッシュフロー計算書について

当期より、表示額を千円単位とし、当期分につきユーロへの換算額を付記しました。換算レートは、2008年度の各月末日のTTMレートの単純平均値（1€=152.07円）を採用しております。

Notes to Financial Statements

1. Basis of presenting financial statements

The financial statements of Medecins Sans Frontieres Japon (hereinafter "MSFJ") have been prepared in complying with accounting principles generally accepted in Japan ("Japanese GAAP"), which are different in certain respects as to application and disclosure requirements of international Financial Reporting Standards.

2. Summary of Significant Accounting and Reporting Policies

(1) Valuation of inventory assets

Inventories are stated at most recent purchase prices.

(2) Depreciation of fixed assets

① Tangible fixed assets

Straight-line method, with a 3 or 5 years useful life of assets

② Software

Straight-line method, with a 3 or 5 years useful life of assets

(3) Computation of consumption tax

All amounts stated are inclusive of national consumption tax and local consumption tax

(4) Leased assets

Financing leases are accounted for in accordance with "the accounting standards for leased assets" and the MSFJ recognizes the leased assets and the lease obligations (Short-term and long-term lease obligation) in the balance sheet. The depreciation period of the leased assets are 5 years for buildings and structures and 3 years for software etc.

3. The changes, balances and breakdown of the endowment and the special funds

MSFJ has no such assets as being classified in the endowment and/or special funds and as being invested, among the funds which were accepted as earmarked and non-earmarked net assets.

4. Assets pledged as collateral N/A

5. Acquisition costs, accumulated depreciations and the carrying amounts of fixed assets at the end of current fiscal year

(Unit: JPY)

Title	Acquisition costs	Accumulated Depreciation	Carrying amounts at the end of current year
Buildings and structures	40,078,040	667,967	39,410,073
Furniture	10,866,705	1,809,302	9,057,403
Equipment and fixtures	21,321,671	9,675,302	11,646,369
Video equipment	2,717,532	1,283,228	1,434,304
Software	3,641,166	2,334,422	1,306,744
Leased assets (Total)	62,017,943	39,742,885	22,275,058
Buildings and structures	456,012	329,342	126,670
Equipment and fixtures	2,179,680	1,474,883	704,797
Software	59,382,251	37,938,660	21,443,591
Grand Total	140,643,057	55,513,106	85,129,951

6. The amount of receivable, allowance for bad debts and receivable at end of current fiscal year.

The amount of receivable, balance of allowance for bad debts and receivable at the end of current fiscal year are as follows.

Title	Amount	Allowance for bad debts at end of current fiscal year	Receivable at end of current fiscal year
Account receivable for collected donations	69,523,453	418,000	69,105,453
Other receivables	475,434	0	475,434
Total	69,998,887	418,000	69,580,887

7. Contingent liabilities N/A

8. The description of the book value, fair value and valuation gains/loss of held-maturity securities N/A

9. The description and the fluctuation of the subvention received for the current period. N/A

10. The description about the transaction between the related parties. N/A

11. Significant subsequent events N/A

12. Others

(1) Recognition of donation revenues

MSFJ recognized donations receivable of 70 mil JPY in the fiscal year 2008 instead of the year 2009 in view of the collection having been already finished in 2008 by debiting each donors bank accounts. MSFJ usually recognized such donations in the next fiscal year after the receipt of payment, in the past years. MSFJ considers it reasonable to recognize the revenue in current fiscal year. Due to this change, the amount of 61 mil JPY, which were paid and recognized in 2008 in a same manner although the collection was already completed in the fiscal year 2007, are reported as non-operating item in the current year's statements.

(2) Transaction in foreign currencies

MSFJ took other currency than JPY into consideration for remittance to overseas partners in 2008. MSFJ simultaneously started to invest surplus funds in risk-free assets in Euro. MSFJ makes sure to maintain the volume of assets and liabilities denominated in foreign currencies at the balanced level in order to manage foreign currency risk through minimization of exposure.

(3) Statement of Cash Flows

It is reported in thousands of Yen from 2008, with an additional column indicating translation into Euro for the current fiscal year. Exchange rate (152.07) applied is a simple average of TTM rates prevailing at the ending date of each Month in 2008.

独立監査人の監査報告書

2009年3月19日

特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本
 会長 井田 覚 殿

あずさ監査法人

指定社員 公認会計士
 業務執行社員

高橋 宏 

当監査法人は、特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本の2008年1月1日から2008年12月31日までの2008年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表総括表、正味財産増減計算書総括表、キャッシュ・フロー計算書及び財産目録総括表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。この財務諸表等の作成責任は理事者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、理事が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本の2008年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の正味財産増減及びキャッシュフローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

特定非営利活動法人 国境なき医師団 日本と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

[English Translation of the Auditors' Report Originally Issued in the Japanese Language]

Independent Auditors' Report

Mr. Ida, the president of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon :

March 19, 2009

KPMG AZSA & Co.

Hiroshi Takahashi (Seal)
 Designated and Engagement Partner
 Certified Public Accountant

We have audited the financial statements, comprising the summary of balance sheet, the summary of net assets changes, the statement of cash flows and the summary of net assets of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon for the year from January 1, 2008 to December 31, 2008 (hereinafter referred to as "the financial statements"). The financial statements and supporting schedules are the responsibility of the management of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon. Our responsibility is to express an opinion on the financial statements and supporting schedules based on our audit as independent auditors.

We conducted our audit in accordance with auditing standards generally accepted in Japan. Those auditing standards require us to obtain reasonable assurance about whether the financial statements are free of material misstatement. An audit is performed on a test basis, and includes assessing the accounting principles used, the method of their application and estimates made by management, as well as evaluating the overall presentation of the financial statements. We believe that our audit provides a reasonable basis for our opinion.

In our opinion, the financial statements referred to above present fairly, in all material respects, the financial position of Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon as of December 31, 2008 and the changes in its net assets and its cash flows for year then ended in conformity with public service corporation accounting principles generally accepted in Japan.

Our firm and the engagement partner have no interest in Not-for-Profit Organization Médecins Sans Frontières Japon which should be disclosed pursuant to the provisions of the Certified Public Accountants Law of Japan.



ケニア

2007年末の大統領選挙の結果をめぐって各地で暴動が発生し、多数の避難民が発生した。MSFは暴動で負傷した人を治療できるよう、臨時の医療施設を開設するとともに、避難民の集まっている地域に赴いて一次医療の提供、援助物資・水の配給、衛生設備の設置などの活動を行った。

謝辞

ありがとうございました

2008年、国境なき医師団 (MSF) 日本は119,193名の個人および4,205の企業・団体の皆様よりご支援をいただきました。皆様の温かいご支援により、世界各国でのMSFの医療・人道援助活動に資金を提供することができました。苦境におかれた人びとに援助を届けることを可能にくださった皆様のご厚意に、心よりお礼申し上げます。

【MSFコーポレートサポータープログラム】

株式会社 シグマ

【催事協賛】

株式会社 小学館

株式会社 公文教育研究会

日本ヒューレット・パカード株式会社

【寄贈】

日本ヒューレット・パカード株式会社

ノースウエスト航空会社

日本航空

株式会社リコー

K2

モリソン・フォスター外国法事務弁護士事務所

【マッチングギフトなど】

イーバンク銀行株式会社、グンゼ株式会社、積水ハウス株式会社、ソニー株式会社、ソネット・エムスリー株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社CHINTAI、株式会社デンソー、株式会社日産フィナンシャルサービス、フェリシモ基金、パナソニック株式会社、楽天KC株式会社、ヤフー株式会社、キューピー株式会社、ブルーチップ株式会社、株式会社TRC図書館流通センター (順不同)

MSFコーポレートサポータープログラム

国境なき医師団 (MSF) 日本では、企業・法人の皆様からの継続的なご支援を広く呼びかけるプログラムを立ち上げ、参加を募っています。皆様からの継続的なご支援は、MSFの活動を通じて、助けを待つ患者のもとに医療・人道援助を届ける力となります。

援助対象: MSFが活動を行っている約60か国での医療・人道援助プログラム (栄養失調の治療、外科手術、感染症対策および治療、予防接種、母子保健、心理ケア等)

期間: 年次 (随時ご参加いただけます。参加日より1ヵ年毎となっております)

プログラム参加企業・法人の皆様へは、年次報告を毎年4月 (予定) にさせていただきます。

お問い合わせ:

Tel: 03-5286-6156 (担当直通)

Fax: 03-5286-6124

E-mail: support@tokyo.msf.org

AC 公共広告機構 2008-2009年 支援キャンペーン



エチオピア、オロミア州
予防接種実施地にて
©MSF

理事

Board of Directors

会長 President	井田 覚 Satoru Ida
副会長 Vice President	黒崎 伸子 Nobuko Kurosaki MD
副会長 Vice President	久留宮 隆 Takashi Kurumiya MD
専務理事 Secretary General	田中 躍 Yaku Tanaka MD
会計役 Treasurer	フレデリック・ヴァラ Frederic Vallat
	ジル・デルマス Gilles Delmas
	ディディエ・ドゥキヤトル Didier Dequatre
	アラン・フレデーグ Alain Fredaigue
	加藤 寛幸 Hiroyuki Kato MD
	ウニョン・コー Eunyoung Ko MD
	名知 仁子 Satoko Nachi MD
	中川 崇 Takashi Nakagawa MD
	菅原 由佳 Yuka Sugahara

監事

Controller

菅村 洋治
Yoji Sugamura MD

事務局長

General Director

エリック・ウアネス
Eric Ouannes

国境なき医師団日本について

国境なき医師団 (MSF) 日本は1992年に設立され、1997年に19カ国にあるMSFの支部のひとつとして独立組織となりました。1999年に特定非営利活動法人 (NPO法人) として東京都の認証を受け、2002年より認定特定非営利活動法人 (認定NPO法人) として国税庁の認定を受けています。

活動をご支援ください

国境なき医師団の活動は、皆様からの寄付で実現しています。私たちとともに、命を救う力となってください。

寄付の申し込み・資料請求は

 0120-999-199 (9:00~19:00 無休)

www.msf.or.jp

国境なき医師団日本は「認定NPO法人」として国税庁の認定を受けています。国境なき医師団日本への寄付は、所得税、法人税などの優遇措置の対象となります。

特定非営利活動法人

国境なき医師団日本

〒162-0045 東京都新宿区馬場下町1-1 早稲田SIAビル3階

Tel: 03-5286-6123(代表) Fax: 03-5286-6124

E-mail: office@tokyo.msf.org

www.msf.or.jp